

なますて

※「なますて」とは… インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源とも言われています。

新住職御挨拶

光林寺三十二世住職

三井 信義

昨年三月に着工した光林寺庫裡の増改築及び境内の整備工事は、昨年末に完成の予定でしたが、埋蔵文化財調査に三か月ほど費やされたこともあり、今年の三月いっぱいまで延期になりました。四月二十三日に総代組頭の役員さん方や御詠歌会の皆様約百五十名程の御参加をいただき、落慶報告法要を厳修致しました。内外のトイレや調理場、バリアフリー通路等が整備され、皆様も快適にお参りしていただけるようになったかと思えます。本当にありがとうございます。

前住職はその完成目前の三月二十四日に急逝致しました。当日の朝もいつものように本堂で勤行をし、その後工事の状況が気になったのか、工事現場を見たいと言って一巡し、ほぼ完成した状況を見て安心したようでした。朝食も普通にとり、来客ともお話をしたりしておりましたが、昼前に胸が苦しいと言いつつ、通院を検討している時に倒れ、救急搬送をお願い致しましたが、そのまま帰らぬ人となってしまいました。あまりにも突然の出来事に、右往左往するばかりで皆様には多々失礼もあったかと思えますがお許しくださいたいと思います。急性心筋梗塞、享年九十一歳の大往生でした。

日頃から「自分は本堂でお勤めをしながら死にたいものだ!」と言っておりましたので、その通り最後の日まで現役を通し切ったことは、本望だったのではないかと思います。住職として六十三年、ルンビニーを開いて四十五年、檀家の皆様や地域の関係者の皆様には大変お世話になったことと存じます。心より御礼申し上げます。

去る、六月八日には、時宗総本山遊行寺より遊行七十四代他阿真円上人を大導師にお招きし、沢山の皆様の御参列をいただき、盛大に本葬を厳修することが出来ました。また、それに先立って新命住職光林寺三十二世として晋山させていただきました。微力ではありますが、前住職の志を引き継ぎ、精一杯努力してまいりる所存でございますので、新副住職大地共々、宜しくご指導・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

檀信徒の皆様には、増改築工事に引き続き、晋山・本葬と多々ご負担をお掛けすることになり、本当に申し訳ございませんでした。心より感謝申し上げます。御礼のあいさつとさせていただきます。

感謝合掌



庫裡増改築及境内整備工事落慶法要

桜咲く、四月二十三日、庫裡増改築及境内整備工事の落慶法要が行われました。当初の予定では春季開山忌法要と兼ね檀信徒皆様と共に御祝いをする予定でしたが、三月に前住職が逝去致しました為、規模を縮小し挙行することとなりました。

振り返れば、当工事は大雨・猛暑等の天候不順に加え、埋蔵文化財の発見・調査、建材・人材の不足・高騰等予期せぬ事態が続き当初の予定を大きく過ぎての完成となりました。とは言え、その様な過酷な中で、事故もなく無事工事が完了したことは大変喜ばしいことと思います。これも偏に仏様のご加護のお陰だと思います。

また、設計・管理を請け負っていただいた永井設計事務所様と施工業者長澤工務店様には多大なる貢献をいただきました。その功績により時宗総本山より感謝状が贈られ法要内で授与された次第です。本当にありがとうございます。

無事、工事が終わった訳ですが前住職が完成を待たずして逝去してしまつた事は残念でなりません。しかしながら、極楽浄土で完成を喜んでいてくれると思います。

今工事は、檀信徒皆様のご協力とご理解により無事完成を見ることが出来ました。衷心より御礼申し上げます。



↑ 外トイレ外観



↑ 庫裡外観(東)



↑ 庫裡外観(南)



↑ 庫裡玄関前にて祈願



↑ 落慶法要(本堂)

秋季開山忌のご案内

恒例の秋季開山忌を下記日程にて執り行います。
ご家族、ご親戚お誘い合わせの上、お参り下さい。

平成26年11月23日(日)

※ 今回の塔前(当番)地区は
八日市・松林寺・富沢・大興寺・大畑・二枚橋・糠塚
の各地区です。ご協力の程、よろしくお願い致します。

光林寺三十二世信義和尚晋山式

去る六月八日、三井信義副住職の光林寺住職就任式にあたる『晋山式』が遊行七十四代真円上人・桑原宗務総長ご臨席のもと、光林寺本堂にて挙行されました。当日の天気は降雨が心配されましたが何とか持ちこたえてくれました。

新住職は似内総代長の自宅に立ち寄り御回向を済ませたのち、行列にて本堂に入堂致しました。堂内にて宗務総長より住職辞令を、御上人より過去帳、財産目録を、檀信徒より晋山記念品を（本七条袈裟）それぞれ授与されました。晋山表白にて住職としての誓いを立て、檀信徒に対し住職として初めての十念を授け晋山式は無事終了しました。

同時に三井大地に副住職辞令が交付されました。

新住職・新副住職共々よろしく
お願い致します。



光林寺第32世新命信義住職晋山記念



光林寺第32世新命信義住職晋山記念



↑ 過去帳等授与



↑ 晋山式法要



↑ 晋山式行列

光林寺三十一世義覚和尚本葬儀

晋山式終了後、昼食を挟んで午後から前住職義覚和尚の本葬儀が真円上人を大導師として厳粛に営まれました。本葬儀には多くの方が足を運んで下さいました。改めて、前住職が多くの方々に慕われていたのだと感じました。

式中には桑原宗務総長、高谷慈光寺住職、上田花巻市長に弔辞をいただきました。衷心より御礼申し上げます。

式後、参列の皆様は御上人より御賦算がございました。その際、お配りいただいた御札の数、何と約五百枚。これだけの方に参列いただき本当に感謝の言葉もありません。

その後、歴代住職御廟にて納骨を無事済ませました。

結局、最後まで雨に降られる事も無く、無事済ませられましたのも阿弥陀様のご加護のお陰だと思います。

また、総代をはじめ檀信徒の皆様には物心両面で多大なるご協力を賜りました。本当にありがとうございます。



↑ 御賦算



↑ 義覚和尚墓所開眼供養



↑ 参列者



↑ 本葬儀

第五十二回光林寺寄席

落語教育委員会 in 石鳥谷

晋山・本葬の余韻冷めやらぬ六月十二日、第五十二回光林寺寄席が開催されました。

今回は柳家喜多八・三遊亭歌武蔵・柳家喬太郎の三師匠にご出演いただきました。お三方は『落語教育委員会』というユニットを組み日本各地を廻っておられます。

喜多八師匠は光林寺寄席にも複数回出演いただきお馴染みですし歌武蔵師匠、喬太郎師匠はテレビでご覧になった事がある方も多いと思います。

そんな実力者が揃った今回。いきなり、聴衆は度肝を抜かれます。突然、私服姿の歌武蔵師匠が本堂に登場。それを追うようにこれまた私服姿の喜多八師匠が登場。どうやら、犯人とそれを追い詰める刑事のようです。そして堂内に響く銃声。倒れる喜多八師匠……。駆けつける同僚刑事役の喬太郎師匠……。

実はこれ、落語教育委員会の携帯電話禁止を呼びかけるコントだったのです。

光林寺寄席始まって以来の展開でしたが、聴衆はすっかり落語教育委員会ワールドに引きずり込まれてしまったのでした。

その後、若手落語家泉水亭錦魚さんの『お菊の皿』、喬太郎師匠の『夜の慣用句』、歌武蔵師匠の『宗論』、喜多八師匠の『五人廻し』と盛りだくさん。皆さんご満足いただけたものと思います。次回、第五十三回につきましては現在調整中です。決まり次第、ホームページや葉書にてお知らせ致します。



↑ 柳家喜多八師匠



↑ 三遊亭歌武蔵師匠



↑ 柳家喬太郎師匠



↑ 沢山の方にお越しいただきました。

豊沢光林寺公園清掃奉仕

七月五日(土)、毎年恒例の『豊沢光林寺公園清掃奉仕』が八日市・大興寺・富沢・二枚橋・大畑・糠塚・豊沢の各地区の檀家さん二十五名の協力を得て行われました。

毎年六く七月頃にその年の春・秋の開山忌当番の地区が担当して行われます。しかし、今年は春の開山忌が中止になった為、急遽豊沢地区の檀家さんにもお手伝いいただきました。

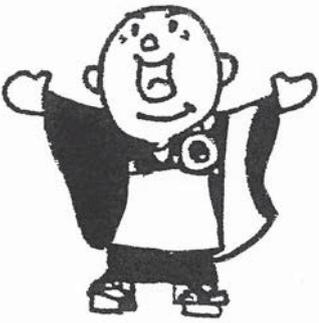
当日は、良い天候の中、午前十時頃から草刈りと掃除を行い、一時間程で見違えるようにきれいになりました。続いて、『阿弥陀くら』に移動し、同じように草刈り、清掃をしていただきました。ありがとうございます。

その後、健考館にて昼食とり、入浴、休憩をし解散となりました。

豊沢・光林寺公園は当山の御本尊『阿弥陀如来像』が発見された由緒ある土地です。光林寺のルーツの一つともいえる場所です。

こういう場所を檀家の皆様とともに訪れ、清掃するということとは大変意味のある、大事な事だと思っております。

今後、ご協力ご参加下さいますようお願い申し上げます。



寺子屋合宿

八月二〜三日に第三十二回寺子屋合宿が開催されました。昨年は改築工事の関係でお休み致しましたが、工事も無事終わり二年ぶりに開催することが出来ました。

今年は石鳥谷小学校、八幡小学校、北上飯豊小学校から三十二名の子供達が集まり『布ぞうり作り』と『ひつまみ作り』に挑戦しました。

布ぞうり作りは、家庭にある古いTシャツを使って作ります。Tシャツを細長く切ってドンドン編み込んでいくのですが、これがなかなか難しい…。左右の色や大きさを合わせなくてはなりません。やはり、子供達も悪戦苦闘がみ…。それでもみんな諦めず頑張って作り続けました。その甲斐もあって何とか完成させることが出来ました。

ひつまみ作りでは、各班1kg(！)の小麦粉を捏ねます。これが重労働。高学年が中心となって一生懸命練り上げました。その甲斐もあってか、とても美味しいひつまみをいただくことができました。他にも、竹箸作りに竹馬、長縄飛びなどの伝承遊びや肝試し、読経、正座、鐘つきなど盛りだくさんの2日間となりました。

また、今回は布ぞうり作りの指導として「ねむの会」の皆さんにご協力をいただきました。また、花北青雲高校の三年生五名と石鳥谷中学校の三年生二名にボランティアとしてお手伝いいただきました。元氣(過ぎ)な子供達の相手は大変だったことと思いますが本当に助かりました。ありがとうございました。

来年も同時期に開催予定です。是非、ご参加下さい。



↑ひつまみ作りは重労働・・・。



↑美味しい!!!



↑心を静めて読経。



↑右？左？どっち？



↑青空の下で朝食



↑えいっ!!!



↑竹箸つくり



↑布ぞうり作り



↑力作揃い